

パネルディスカッション

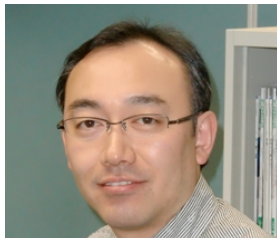
「プロジェクト研究のすゝめ ～次世代のリーダーシップを育む～」

パネル概要

福沢諭吉は「学問のすゝめ」の中の「天ハ人ノ上ニ人ヲ造ラズ人ノ下ニ人ヲ造ラズト云ヘリ…」の下りにおいて、人々には生まれながらには貴賤上下の差がないにもかかわらず、学問の有無によって大きな社会的な差異が生まれることを指摘し、学問を奨励した。他方、情報通信技術の研究者においても、研究者として論文を書くことは同じであれど、自らが率いる研究プロジェクトの成否によって研究者としての評価に差異を生むように思われる。近年は、情報通信技術（ICT）が成熟期を迎え、他分野への ICT の応用や実世界で役に立つ ICT が求められていることからプロジェクト研究の重要性が増しており、プロジェクト研究の一層の奨励が望まれている。また、競争的資金が大型化すると同時に、分野複合領域の研究も推進されている。この状況下でプロジェクトを率い、成功させるためには、研究課題のタイムリーな選定はもちろん、課題に合わせた柔軟なチーム編成、多様な能力を持つメンバーの統率等、広い視野と判断力を伴った強いリーダーシップが求められる。

本パネルディスカッションでは、これまでにプロジェクトや研究グループを率いて実績を上げてこられた経験豊かな識者をお招きし、それぞれの経験をご紹介いただく。また、研究プロジェクトのテーマ選定、編成、統率、そして何より成功に導くノウハウやコツについて、次世代に受け継ぐべき事柄を中心にお話しいただき、「研究プロジェクトを成功に導くリーダーシップ」について、参加者とともに議論する。

パネリスト紹介（五十音順）



井上 真杉（正会員）

情報通信研究機構（NICT）

1992年京大・工・電気工学第二卒。1997年東大大学院・工・電子工学専攻博士課程修了。博士（工学）。同年、郵政省採用、通信総合研究所（現在の情報通信研究機構）に配属。以来、ミリ波156Mbps無線LAN（開発当時世界最高速）、第4世代移動通信、新世代ネットワーク、地域情報ネットワーク（NerveNet）の研究開発に従事。2000年米国 Polytechnic University（現在 Polytechnic Institute of New York University）客員研究員。現在、同機構経営企画部及び耐災害ICT研究センターワイヤレスメッシュネットワーク研究室に所属。電子情報通信学会モバイルネットワークとアプリケーション（MoNA）研究専門委員会委員長。船井情報科学奨励賞（2009）、文部科学大臣表彰若手科学者賞（2007）、情報処理学会論文賞（2006, 2007）、通信ソサイエティ活動功労賞（2006, 2009）等受賞。



柴田 義孝（正会員）

岩手県立大学

1985年 UCLA 大学院計算機工学専攻博士課程修了（Ph. D. in Computer Science）。同年ベル通信研究所（旧 AT&T）専任研究員として超高速ネットワークの研究に従事。1988年東洋大学工学部情報工学科助教授。1997年同大学工学部情報工学科教授。1998年岩手県立大学メディアセンター長・ソフトウェア情報学部教授。2012年同大学理事・副学長・地域連携本部長。現在に至る。情報処理学会 DPS 研究会幹事、論文誌編集委員会主査、2001年情報処理学会フェロー。マルチメディア通信、ネットワークプロトコル、耐災害情報ネットワークの研究開発に従事。IEEE, ACM, 電子情報通信学会, VR 学会, 感性工学会, 災害情報学会の各会員。



谷口 秀夫 (正会員)

岡山大学

1978年九州大学工学部電子工学科卒業。1980年同大学院修士課程修了。同年日本電信電話公社電気通信研究所入所。NTT データ通信 (株), 九州大学を経て, 現在, 岡山大学教授。工学部長。過去に, 4つのオペレーティングシステムの研究開発に従事し, そのうち3つは商用化。現在, 独自のオペレーティングシステム (Tender と AnT) と Linux ベースの Mint を学生とともに研究開発中。博士 (工学)。オペレーティングシステム, 実時間処理, 分散処理に興味を持つ。電子情報通信学会, ACM 各会員。本会フェロー。



東野 輝夫 (正会員)

大阪大学

1979年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1984年同大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。博士 (工学)。同年同大学助手。1999年同大学教授。現在, 同大学大学院情報科学研究科教授。2007年10月より2013年3月まで独立行政法人科学技術振興機構 CREST 研究代表者。分散システム, 通信プロトコル, モバイルコンピューティング, サイバー・フィジカル・システム等の研究に従事。2010年本会50周年記念論文・論文賞受賞。電子情報通信学会, ACM 各会員。IEEE Senior Member, 本会フェロー。



安本慶一 (正会員)

奈良先端科学技術大学院大学

1991年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業。1995年同大学院基礎工学研究科博士後期課程中退。博士 (工学)。1995年滋賀大学助手。1998年同大学助教授。2002年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授。2011年同研究科教授。モバイルコンピューティング, ユビキタスコンピューティング, マルチメディアシステム等の研究に従事。2008-2012年 MBL 研究会幹事。2013年本会山下記念研究賞受賞。2013年より本会理事。電子情報通信学会, ACM, IEEE 各会員。

コーディネータ紹介



吉廣卓哉 (正会員)

和歌山大学

1998年京都大学工学部卒業。2003年同大学情報学研究科博士後期課程終了。博士 (情報学)。2003年和歌山大学システム工学部助教。2009年同学部講師, 2012年准教授。グラフ理論, 情報ネットワーク, バイオインフォマティクス, データベースシステム等の研究に従事。本会 DPS 研究会運営委員, 論文誌編集委員。サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム運営委員, DPSWS2012 プログラム副委員長。電子情報通信学会, 日本データベース学会, IEEE 各会員。